

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。 そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。						
プロジェクトの目的及び概要	これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを進める。						
	総事業費（千円）	259,203	本年度事業費（千円）	47,045	交付金額（千円）	16,713	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	優良産品認定事業	交付対象事業	町内で製造販売される産品を優良産品として認定する。	優良産品認定 27事業者、55品目。 優良産品認定商品カタログの増刷。			
	与謝野自慢開催事業	交付対象事業	都市部で与謝野町のPRを行う。	10月18、19日に大阪府堺市で実施。1,000名来場。			
	海の京都・美心与謝野事業	交付対象事業	ちりめん街道を中心とした海の京都関連事業。	誘導・案内看板整備、野田川駅トイレ改修、各種研修会・ワークショップの開催。			
	与謝野町ブランド戦略事業	交付対象事業	与謝野町ブランドの販路開拓等事業。	有識者の町内招聘、先進地視察、各種ワークショップの開催。			
	観光施設整備事業	交付対象事業	観光施設の整備。	大内峠一字観公園、旧加悦鉄道駅舎、上司谷公園、野田川森林公園、山の家 の整備。			
	クアハウス施設整備事業	交付対象事業	温泉施設の整備。	温泉用設備整備工事など。			
	中小企業振興事業	交付対象事業	中小企業振興による地域経済の活性化。	創業支援、人材育成、新商品開発など27件。			
	織物振興事業	関連事業	織物振興対策事業。	着付け教室講師委託（春夏秋冬47講座、のべ475人受講）。			
	実のなる森づくり事業	交付対象事業	柿栗等を植栽し豊かな森を作る有害鳥獣対策事業。	2箇所実施。			
	食と健康の拠点施設運営事業	関連事業	食と健康をテーマにした施設の運営。	のべ56,124人。			
農業用施設整備事業	関連事業	農家の安定的な生産のため農業用施設の整備を行う。	下山田井堰改修など。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：与謝野町

住民協働事業	有害鳥獣防除施設設置事業	関連事業	有害鳥獣被害を防ぐための防除施設の設置。	2箇所、施工延長8,124.7m。	
	有害鳥獣捕獲事業	交付対象事業	有害鳥獣の捕獲・処理。	処理：大型獣1,160頭、小型鳥獣181頭。	
	パイプハウス整備事業	関連事業	農家のパイプハウスを利用した農業実施に係る補助事業。	パイプハウス設置のための補助。	
	自然循環型農業推進事業	交付対象事業	有機肥料による自然循環型農業の推進。	京の豆っこ米の都市部量販店での店頭試食販売など。	
	丹後ファッションウィーク開催事業	関連事業	丹後ちりめんの認知度向上を目指し事業展開を行う。	学生による、丹後ちりめん生地を加工した衣装でのファッションショー開催など。	
	無農薬・有機農業による安全な地域づくり事業	関連事業	この地域に合った無農薬栽培農法の研究を行う。	完全無農薬による米作りの研究。	
住民が取り組む事業	竹林整備事業	関連事業	放置竹林の利活用事業。	ボイラー燃料への試験導入。竹筒ごはんの試作など。	
成果指標①	成果指標の目標数値	農業の担い手の確保・育成 (H23：44人⇒H29：50人)		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	平成26年度46人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 高齢化による担い手の自然減少はあるが、ほぼ現状を維持している。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	有害鳥獣による農作物被害軽減 (H23：15ha/年⇒H29：7.5ha/年)		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	平成26年度6.2ha/年
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 有害鳥獣対策事業の実施により、農作物被害の軽減に繋がっている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	観光客の増 (H23：662千人⇒H29：800千人)		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	平成26年度677千人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 「海フェスタ京都」のイベントととして「ひまわりフェスティバル」を開催したが、期間を通して集客できなかったことに加え、大型の台風が週末にかけ2度も接近し、観光客の入り込みに影響を及ぼした。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	観光消費額の増加 (H23：5億2,208万円⇒H29：8億円)		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	平成26年度6.1億円
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 昨年度に引き続き横ばいとなっている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：与謝野町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>観光分野においては、「海フェスタ京都」のイベントとして「ひまわりフェスティバル」を開催したが、期間を通して集客できなかったことに加え、大型の台風が週末にかけ2度も接近し、観光客の入り込みに影響を及ぼした。しかしながら、リフレかやの里のランチバイキングが徐々に定着してきており、観光消費額も本年度は横ばいとなったが年々増加傾向にあるため、今後も引き続き観光客増加に向け取組みを進めていく。</p> <p>また、農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組による与謝野町ブランド（「京の豆っこ米」）の知名度の上昇や、有害鳥獣防除施設設置事業による農作物被害軽減効果などにより、農業従事者のやりがいに繋がっている。今後、農業従事者の増加に繋がることを期待する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業で住民や民間事業者と協働して与謝野町のPR事業等を行い、都市部での与謝野町や製品の認知度を高めている。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>5市2町による「海フェスタ京都」の取組みを京都府とも連携し実施したことにより、北部地域の観光振興やPRに一定の成果が出ている。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行い、住民の取組を活性化している。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>有害鳥獣対策の分野や新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>産業分野は地産地消や循環型経済、自然循環型農業の推進など、地域全体に効果が還元できるような取組を目指している。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。</p>